令和５年７月１２日
瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会資料

資料５－６

令和４年度瑞浪市夢づくり地域交付金事業

【明世地区
まちづくり推進協議会】

●実績の概要

事業数	５事業
事業費総額 （決算時）	９８９，０００円
交付金決定額 （うち加算額）	９８９，０００円 （０円）
交付金決算額	９８９，０００円
交付金返還額	０円

●添付資料

・実績報告書　Ｐ１　～Ｐ１６
・事後評価調書　Ｐ１７～Ｐ２１
・参考写真
（令和４年度夢づくり地域交付金事業の様子）　Ｐ２２～Ｐ２６

様式第８号（第１１条第１項関係）

令和　５年　４月　１０日

瑞浪市長　様

（申請団体）
所在地：瑞浪市上平町１番地－１
名称：明世地区まちづくり推進協議会
代表者氏名：会長　小林　博明

夢づくり地域交付金実績報告書

令和４年４月３０日付瑞浪市指令第５４号の７で交付決定された夢づくり地域交付金の事業計画について、瑞浪市夢づくり地域交付金交付規則第１１条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

１．実績書（様式第９号）

事　業　名
あきよウォッチング事業
広報活動事業
スポーツ推進事業
花いっぱい事業
青少年育成事業
（　　）基金積立事業

２．活動記録等の資料（写真等）
３．帳簿の写し（監事の記名・押印のあるもの）
４．通帳の写し
５．~~契約書の写し（１件の支払額が５０万円を超える場合に限る。）~~
６．~~備品購入、業者選定等の選定委員会等の会議録（ステップアップ事業）~~

注１）不要な文字は抹消すること。
注２）上記以外の添付書類がある場合は、連番を付して記載すること。

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

あきよウォッチング事業

２　活動報告（活動内容等）

コロナ禍を受け、当初事業計画にて予定した行事イベントは中止として、昨年同様に極力接触のない形でかつ個人の意思による自由参加形式でイベントを企画した。

（１）11月12日～27日の間、参加自由で、指定されたテーマに共感しご対応頂いた町民の皆様方に、参加記念品を進呈。関係情報は凡そ１カ月前に明世町自治会加入者宅には全戸配布し周知を行った（明世小学校全児童にも全配布）
①明世小学校区内（戸狩、月吉、山野内・和合）の児童登下校ルートで、危険と思われる箇所のご提案をいただく。
②防災意識を高める為、明世町地区内にある全消火栓（６８箇所）に、５種類の防災標語（標語の頭には①番～順に番号を表記）をあらかじめ貼付けたものの中で自宅周辺３ヶ所を廻って、何番の防災標語が書いてあったかを指定用紙にて報告をいただく。

（２）どんど焼
３年振りに開催。１２月に青少年育成委員会委員メンバー等により、事前の木伐採を行い、前日７日午後より会場に設置。当日は天候にも恵まれ早朝より多くの地域住民のご来場がいただけた。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

活動時期・参加人数
（１）10月末ｲﾍﾞﾝﾄ開催案内ﾁﾗｼを全戸配布。11月27日最終日参加記念品交換所に６０組、１５０名に参加を頂けた（目標120）
（２）1月8日9時～開催。約120名程に来場頂けた（目標100名程度）
どんど焼き終了後は、瑞浪消防署署員による児童・園児等への消火器教室（約30名参加）が行われた他、地域住民へは火災発生時の初期消火を行える様、模擬消火栓を使用しての取扱い訓練も行った（約20名が参加）

４　事業に要した経費（総事業費）

400,000　円

５　夢づくり地域交付金充当額

400,000　円
（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区　　該当なし

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月			
６月	委員会開催①（年間計画策定） （煮炊き用電源購入を決定：7月に購入）		
７月		備品費	121,688
８月	委員会開催②（ウォーキングコース決定等）		
９月			
１０月	拡大会議開催 ウオーキング準備		
１１月	委員会開催③（計画の見直し） →新型コロナ対応に依り企画内容を 変更し実施（３密の回避）	消耗品費 食料費	234,740 18,443
１２月	委員会開催④（どんど焼き実施要領検討） どんど用木材切り出し・運搬		
１月	どんど焼き準備・開催	消耗品費 食料費	10,320 14,809
２月			
３月			
合計			400,000

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	400,000	400,000	
自主財源			
その他（　　）			
合　　計	400,000	400,000	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
あきよ ウォッチング	あきよウォッチングチャレンジ2022	消耗品費	120,000	234,740	ｲﾍﾞﾝﾄ参加記念品
		食料費	60,000	18,443	関係者お弁当飲料水
		光熱水費	5,000	0	
		賄材料費	100,000	0	
		保険料	5,000	0	
		手数料等	10,000	0	
		備品費	0	121,688	煮炊き用電力
		小計	300,000	374,871	
	どんど焼き	消耗品費	30,000	14,809	ｲﾍﾞﾝﾄ参加記念品
		食料費	60,000	10,320	関係者お弁当飲料水
		光熱水費	10,000	0	
		小計	100,000	25,129	
合　　計			400,000	400,000	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

広報活動事業

２　活動報告（活動内容等）

まちづくり活動への理解と関心を高めて、参加者及び担い手の増加を図るため
また、まちづくり事業の告知等を行うため、広報誌を発行・配布を予定通り実施。
これにより、郷土の自然や歴史等の情報を伝えることにより、郷土への愛着と関心を深めることに寄与できた。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

広報誌の発行　年４回：６月、９月、１２月　３月　各１，０００部
（３月号では、各委員会の年間活動を端的にまとめて掲載する）
→6月号、9月号（10月号として）、12月号、3月号　計画通り発行できた

４　事業に要した経費（総事業費）

253,995　円

５　夢づくり地域交付金充当額

253,995　円
（内、交付金加算額　　０円）

６　合同で実施した地区　　該当なし

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	（掲載情報の収集は随時実施）		
５月	委員会開催①（年間計画決定：６月30日号の編集等） →委員会開催①		
６月	広報誌（まちづくりだより6/30号発行） →6/30号発行	印刷費	49,500
７月			
８月	委員会開催②（9月30日号の編集等） →委員会開催②		
９月	広報誌（まちづくりだより9/30号発行	印刷費	51,700
１０月			
１１月	委員会開催③（12月31日号の編集等） →委員会開催③		
１２月	広報誌（まちづくりだより12/31号発行 →12/31号発行	印刷費	51,700
１月			
２月	委員会開催④（3月31日号の編集等） →委員会開催④		
３月	広報誌（まちづくりだより3/31号発行 →3/31号発行		101,095
合計			253,995

8　収支実績

（１）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	252,000	253,995	
自主財源	0	0	
その他（　　）			
合　　計	252,000	253,995	

（２）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
広報誌 発行経費	まちづくり だより発行 6/30号 9/30号 12/31号 3/31号				
		印刷費	150,250	152,900	A4版3回発行計
		印刷費	101,750	101,095	A3版１回発行
合　　計			252,000	253,995	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

スポーツ推進事業

２　活動報告（活動内容等）

町民の高齢化に伴い、健康づくり及び健康意識の高揚を図るため、また、参加者同士の交流促進を目的として事業を行うため、高齢者が気軽に参加できるウォーキングを主体とし、日常的に運動に親しむきかっけを創出するため、（１）ノルディックウォークの開催（２）ストレッチ講習会を計画するも、コロナ禍を受け、全て中止とし、多々良先生監修による「ストレッチ動画」CD版を作成。閲覧を希望する地域住民に無料で貸し出し、健康意識を高めて貰うこととした。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

①ノルディックウォーキングは4月より開始し、5月、6月、7月、8月、9月、10月
11月、2月、3月　計10回開催。　都度参加者は戸狩地区を中心に15名程度に
参加頂けた。（年間延べ１５０名）
②

４　事業に要した経費（総事業費）

50,000　円

５　夢づくり地域交付金充当額

50,000　円
（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区　　該当なし

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容		経費の内容	
			決算科目	金額
４月	ノルディックウォーク開催①			
５月	委員会開催　（年間計画） ノルディックウォーク開催②			
６月	委員会開催　（参加者拡大策協議） ノルディックウォーク開催③ ストレッチ講習会＃１開催		食料費	10,000
７月	ノルディックウォーク開催④			
８月	ノルディックウォーク開催⑤			
９月	ノルディックウォーク開催⑥			
１０月	ノルディックウォーク開催⑦			
１１月	ストレッチ講習会開催＃２ ノルディックウォーク開催⑧ →委員会開催			
１２月				
１月				
２月	ノルディックウォーク開催⑨			
３月	ノルディックウォーク開催⑩	ｽﾄﾚｯﾁ講習会 6月、11月に開催	報償費	30,000
		ノルディック ウォーク指導料	報償費	10,000
合計				50,000

8　収支実績

（１）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金			
自主財源			
その他（　　）			
合　　計	0	0	

（２）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
スポーツ委員会	①ノルディックウォーキング	報償費 食料費 通信費等	10,000 14,000 2,000	10,000 10,000 0	
		小計	26,000	20,000	
	②ストレッチ講習会 6月 11月 2回開催	報償費 食料費	20,000 4,000	30,000	
		小計	24,000	30,000	
合　　計			50,000	50,000	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

花いっぱい事業

２　活動報告（活動内容等）

明世地区内における環境美化促進のため、計画通り明世小学校と各区に花の苗配布を行った。 明世小学校では用務員さんにより、明世地区、月吉地区では長寿会さんにより、山野内区では有志の方々により、植栽及び植栽後の水やり、草刈りなどを実施。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

→春：1,200ポット（明世小学校300、山野内250、戸狩300、月吉350） →秋　1,500ポット（明世小学校360、山野内380、戸狩380、月吉380）

４　事業に要した経費（総事業費）

185,005　円

５　夢づくり地域交付金充当額

185,005　円

（内、交付金加算額　　０円）

６　合同で実施した地区　　該当なし

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容		経費の内容	
			決算科目	金額
４月				
５月				
６月	花苗配布：１，２００ポット →１，５００ポット実施	苗 肥料	消耗品費 消耗品費 食料費	78,000 10,836 2,211
７月				
８月				
９月				
１０月				
１１月	花苗配布：１，５００ポット →１，５００ポット実施	苗 肥料	消耗品費 消耗品費 食料費	78,000 13,798 2,160
１２月				
１月				
２月				
３月				
合計				185,005

8　収支実績

（１）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	187,000	185,005	
自主財源	0	0	
その他（　　）			
合　　計	187,000	185,005	

（２）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
春：６月	花苗配布（４種類）1,300 →全体ポット数　1,500 明世小 500 月吉区 200 戸狩区 400 山野内区400	消耗品費	87,000	78,000	苗
		消耗品費	0	10,836	肥料
		食料費	0	2,211	作業者飲料水
		小計	87,000	91,047	
秋：１１月	花苗配布（２種類）1,500 →全体ポット数　1,500 明世小 360 月吉区 380 戸狩区 380 山野内区 380	消耗品費	100,000	78,000	苗
		消耗品費	0	13,798	肥料
		食料費	0	2,160	作業者飲料水
		小計	100,000	93,958	
合　　計			187,000	185,005	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

青少年育成事業

２　活動報告（活動内容等）

将来の担い手を育てるべく、町民と児童生徒等との触れ合いの場として、以下の通り活動を行った。

１）明世地区青少年育成町民会議は7月に開催予定するもｺﾛﾅ禍により中止とした。

２）ホタル育成事業は、里親活動の支援（水槽設置、餌ｶﾜﾆﾅの配給、消耗品補充）専用水路への幼虫放流、観賞会対応など概ね計画通り活動に取組めた。
また、専用水路ホタルの里“福”の環境整備への取組みとして、沈砂池の清掃（泥だし）、水路周辺の草刈り、ｶﾜﾆﾅ補充、市農林課主管による緑の助成制度活用による「植樹」等、関係者が一丸となって関わって行けた。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

１）青少年明世町民会議　　ｺﾛﾅ禍により中止
２）①勉強会(明世小)　６月に実施　23名(5年生)
②幼虫放流会（3月に3回実施）明世小児童計５０名、生活学校さん5名、里親関係者30名
③ホタルの観賞会(15日～31日来場者総計)　５６０名（平均35名/日）

４　事業に要した経費（総事業費）

100,000　円

５　夢づくり地域交付金充当額

100,000　円
（内、交付金加算額　　０円）

６　合同で実施した地区　　該当なし

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月			
６月	①ホタル勉強会（明世小） ②ホタル観賞会（ホタルの里“福”	消耗品費 食料費	78,697 18,225
７月	ホタル雄雌捕獲	消耗品費	3,078
８月			
９月			
１０月			
１１月			
１２月			
１月			
２月			
３月			
合計			100,000

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金			
自主財源	0	0	
その他（　　）			
合　　計	0	0	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
	明世町民会議				
		消耗品費	10,000	0	中止
		食料費	10,000	0	中止
		小計	20,000	0	
ホタル育成促進活動	①ホタル勉強会 ②ホタル幼虫放流会 ③ホタル観賞会 ④ﾎﾀﾙ雄雌捕獲 ⑤専用水路維持管理				
		消耗品費	55,000	81,775	水槽消耗品等
		食料費	25,000	18,225	関係者飲料水等
		小計	80,000	100,000	
合　　計			100,000	100,000	

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	明 世 地 区
事業番号	1
事業名	あきよウォッチング事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		5
2	成果目標の達成度	成果目標	行事参加者：220人（：明世ウオッチング120人、どんど焼き：100人 ）	5
		実績値	行事参加者：270人（ウォッチングイベント：150人、どんど焼き：120人）	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	住民相互の連帯感の形成、郷土の歴史・自然等に対する関心・理解の醸成	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		5
合計点				27

今後の事業展開の方向性	1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	町民ウォーキングは昨年度に続きコロナ禍により集団でのイベントを「中止」。3密を避けるべく企画を別に立案し、概ね成果は良好であったと判断します。 企画は「あきよウォチング チャレンジ2022」と題し、11月27日、地区内の防災拠点（消火栓に防災標語をチェック）と明世小児童の通学路安全再点検、に協力頂いた方に景品を進呈すると言うもの。当日は天候にも恵まれたこともあり60家族150名程の参加者があり、住民の皆さんにはコロナ禍での中にあっても大変評価を頂けました。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　明世地区
事業番号　2
事業名　広報活動事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		5
2	成果目標の達成度	成果目標	広報の発行回数:4回(6月、9月、12月、3月)	5
		実績値	広報の発行回数:4回(6月、9月、12月、3月:各1,000部)	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	まちづくり活動に対する地域住民の認知度・理解の向上と情報提供(情報共有)	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		5
合計点				27

今後の事業展開の方向性	1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	まちづくり活動への理解と感心を高めて参加者及び担い手の増加を図るため、またまちづくり事業の告知等を行うために広報誌を発行し配布した。 今年度は「明世地区のデータあれこれ」、「シリーズ人」に加え、翌年正式スタートとするコミュニテ・スクールについて理解を深めて頂くことに注力。また、青少年育成事業が取り組むまちづくりの柱としての「ホタル育成事業」に関連する情報の発信を継続し地域住民からの関心を深めるのに繋がった。 今後もまちづくり活動や郷土の歴史や自然、防犯・防災等の情報を共有するため、新たな連載の開始等について検討を加えたい。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	明 世 地 区
事業番号	3
事業名	スポーツ推進事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		5
2	成果目標の達成度	成果目標	行事参加者：150人（ストレッチ講習会（6月、11月：各30人、ノルディックウォーク5月～11月 計7回：延べ総数120人参加）	5
		実績値	行事参加者：205人（ストレッチ講習会：2回計 40人、ノルディックウォーク：165人） 平均15人/回×11回	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		5
4	地域の課題解消	課題の内容	健康意識の醸成と健康の促進	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		3
合計点				26

今後の事業展開の方向性	1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	3年目となったコロナ禍であったものの、ノルディックウォーキングは5よりスタートし11まで実施することが出来た。 多々良恵子氏による健康講座（ストレッチ講習会）はロナ禍の状況の中対策を講じつつ計画通り2回開催して、地域住民の要望に答えることが概ね出来たと考えます。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	明 世 地 区
事業番号	4
事業名	花いっぱい事業

評価項目		評価項目に対する 各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		5
2	成果目標の達成度	成果目標	花の苗 回数及び配布ポット数:2回(6月/1200ポット、11月/1,500ポット)	4
		実績値	花の苗 回数及び配布ポット数:2回(6月/15000ポット、11月/1500ポット)	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		5
4	地域の課題解消	課題の内容	まちづくり活動に対する地域住民の認知度・理解の向上と情報提供(情報共有)	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		5
合計点				27

今後の事業展開の方向性	1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	明世地区内における環境美化を推進するため、各区と明世小学校に花の苗を配布し美化を進めた。 なお、植栽・管理は戸狩、月吉両地区については長寿会(クラブ)に、山野内は有志一同に、明世小学校はコミュニティスクールの活動の一環として1年生児童が授業として参加。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	明 世 地 区
事業番号	5
事業名	青少年育成事業

評価項目		評価項目に対する 各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		5
2	成果目標の達成度	成果目標	1)明世地区青少年育成町民会議:100人の参加と児童生徒らによるテーマ発表 2)中学生と語る会:①ワーキングショップの開催、②意見交換会 3)ホタルの育成事業:観賞会(来場者500名、明世小5年生との勉強会23名、幼虫放流会50名) 573名	5
		実績値	1)明世地区青少年育成町民会議:100人の参加と児童生徒らによるテーマ発表 →コロナ禍に依り「中止」とした。代わりとなるイベントもなし。 2)中学生と語る会:①ワーキングショップの開催、②意見交換会 →日吉地区主催に協力 3)ホタルの育成事業:観賞会560名、勉強会23名、幼虫放流会、85名、用水路整備延べ50人 718名	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		5
4	地域の課題解消	課題の内容	青少年育成の観点からも、日頃より将来の担い手となる地域の子ども等にも参加頂ける様なイベントがここ数年続くコロナ禍に伴い、実施が難しい状況にある 。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		5
合計点				28
今後の事業展開の方向性		1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		今年度は、コロナ禍にはあったが、ホタル育成事業を青少年育成事業に取り込むことで、これまでにない頻度で、地域の児童、生徒さん等との触れ合いが実現した。正式スタートとなったコミュニティ・スクールでは、最大限地域の子ども等と継続的に関わって行ける様なイベントが積極的に実施することができた。 継続して魅力あるまちづくり活動の推進と関わって頂ける方々の育成を図って行きたい。		

夢づくり地域交付金事業の様子

（明世地区）

※ 別添資料に代えさせていただきます。